

ISS・きぼうウィークリーニュース

International Space Station (ISS) / Japanese Experiment Module "Kibo"

WEEKLY NEWS Vol. 487



打上げ前の伝統的なセレモニーに参加する星出宇宙飛行士ら第 32 次 / 第 33 次長期滞在クルー (出典: JAXA/GCTC)

今週の国際宇宙ステーション



最初の ISS 構成要素打上げから **4967** 日経過

星出宇宙飛行士らは打上げに向けた最終試験に優秀な成績で合格

第 32 次 / 第 33 次長期滞在クルーの星出宇宙飛行士は、ソユーズ宇宙船 (31S) の打上げに向け、ロシアのガガーリン宇宙飛行士訓練センター (GCTC) で 6 月 19 日から 20 日にかけて行われた最終試験に、サニータ・ウィリアムズ、ユーリ・マレンチェンコ宇宙飛行士とともに優秀な成績で合格し、31S 搭乗クルーとして正式に承認されました。

6 月 22 日、GCTC で行われた記者会見で、星出宇宙飛行士は「いよいよ近づいてきたという感じ、気を引き締めていきたい」と ISS 長期滞在開始に向けた心境を語りました。また、「ゆっくり、じっくり仕事ができることを楽しみにしている。非常に忙しくなると思うが、地上のチームと一緒に頑張っていきたい」と軌道上でのミッションに向けた抱負を語りました。

記者会見後、星出宇宙飛行士らは、モスクワのクレムリンにてユーリ・ガガーリン宇宙飛行士らロシア (旧ソ連) の宇宙開発に貢献した人々の墓所があるクレムリンの壁の前に赤いカーネーションを捧げ

るなど、打上げ前の伝統的なセレモニーに参加しました。

星出宇宙飛行士らは短い休暇を取得した後、打上げが行われるカザフスタン共和国のバイコヌール宇宙基地に移動し、打上げに向けた最終準備に入ります。星出宇宙飛行士らの搭乗する 31S は、7 月 15 日の打上げを目標としています。

JAXA は、星出宇宙飛行士 ISS 長期滞在ミッションおよび宇宙ステーション補給機「こうのとり」3 号機 (HTV3) ミッションの模様を、特別番組としてライブ放映する予定です。現在、この映像をインターネットやパブリックビューイングなどで広く配信していただける配信協力先を募集しています。詳細はホームページをご覧ください。多くの企業・団体様のご応募をお待ちしています。

軌道上では、第 30 次 / 第 31 次長期滞在クルーのコノネンコ、カイパース、ペティット宇宙飛行士が、ソコル宇宙服を着用して帰還時の作業手順を確認するなど、地上への帰還に向けた準備を行って

います。コノネンコ宇宙飛行士らは、ソユーズ宇宙船 (29S) に搭乗して、7 月 1 日午後 5 時 14 分頃に地上へ帰還する予定です。



記者会見後の星出宇宙飛行士ら第 32 次 / 第 33 次長期滞在クルー (出典: JAXA/NASA)

■ Expedition 31 Crew

ISS 滞在 185 日経過

オレグ・コノネンコ (コマンダー、ロシア)
アンドレ・カイパース (ESA)
ドナルド・ペティット (NASA)

ISS 滞在 40 日経過

ゲナディ・パタルカ (ロシア)
ジョセフ・アカバ (NASA)
セルゲイ・レヴィン (ロシア)

Website info

インターネットライブ放送配信協力先募集！
～星出宇宙飛行士&「こうのとり」3号機ミッション～
http://iss.jaxa.jp/topics/2012/06/hohtv_livecorp.html

星出宇宙飛行士長期滞在
http://iss.jaxa.jp/iss/jaxa_exp/hoshide/



マランゴニ対流実験の準備などを実施、MAXI サイエンスニュース最新号公開

「きぼう」日本実験棟船内実験室では、6月19日から23日にかけて、流体物理実験装置 (FPEF) にて「マランゴニ対流におけるカオス・乱流とその遷移過程」実験の第5シリーズに向けた準備作業を行いました。今後、6月26日から継続的に実験を行う予定です。

「きぼう」日本実験棟船外実験プラットフォームでは、宇宙環境計測ミッション装置 (SEDA-AP) と全天X線監視装置 (MAXI) の観測運用、超伝導サブミリ波

リム放射サウダ (SMILES) の後期運用が続けられています。

ホームページでは、MAXI サイエンスニュースを随時掲載しています。最新号の42号では、へびつかい座でのX線新星発見についてお伝えしています。そのほか、オリオン座ベテルギウスの監視など毎号大変興味深い話題を掲載していますので、ぜひご覧下さい。

JAXA は、「きぼう」船内実験室を利用して実施する「高品質タンパク質結晶生成

実験」(JAXA PCG) の第6回実験に搭載するタンパク質を募集しています。募集の対象や応募方法などの詳細はホームページをご覧ください。募集締切りは7月20日 (金) 午後5時です。

Website info

MAXI サイエンスニュース

<http://iss.jaxa.jp/kiboexp/ef/maxi/news.html>

「きぼう」利用高品質タンパク質結晶生成実験 (第6回) 搭載タンパク質の募集について

http://iss.jaxa.jp/kiboexp/application/protein_crystal06.html

「きぼう」での実験 (各実験の詳細はこちら)

<http://iss.jaxa.jp/kiboexp/>

トピックス

油井宇宙飛行士、すべてのミッションを完遂し、NEEMO16 訓練を終了!

油井宇宙飛行士ら第16回 NASA 極限環境ミッション運用 (NEEMO16) 訓練参加者は、フロリダ州キー・ラーゴ沖の海底研究施設「アクエリアス」にて6月21日まで小惑星探査を模擬した船外活動などを行い、予定されていたすべてのミッションを完遂して、6月22日、無事海底から地上へ帰還しました。

油井宇宙飛行士らは、6月23日は航空機搭乗による減圧症の危険を減らすためキー・ラーゴに留まり、6月24日にテキサス州ヒューストンへ空路で移動しまし

た。今後は NASA ジョンソン宇宙センター (JSC) にて、NEEMO16 訓練終了後の作業などを行う予定です。

ホームページでは、「油井宇宙飛行士の宙 (そら) 亀日記〜今は海亀編〜」の第7回を掲載しました。最終回となる今回は、NEEMO16 訓練の総括として、将来的な有人小惑星探査の概要と、今後の活動に向けた抱負などが綴られていますので、ぜひご覧ください。また、訓練を終えた油井宇宙飛行士からのメッセージ映像もご覧になれます。



地上へ帰還した油井宇宙飛行士 (出典: JAXA/NASA)

Website info

油井宇宙飛行士の宙 (そら) 亀日記〜今は海亀編〜

<http://iss.jaxa.jp/astro/yui/neemo16/news/>

油井宇宙飛行士 Twitter

https://twitter.com/Astro_Kimiya

more information



▶ 7月4日(水)開催 JAXA シンポジウム 2012 in 東京「宙から視る、宙をつかう」参加者募集中! (先着申込制(1,000名))

<https://www.science-event.jp/jaxasympo2012/>

本シンポジウムの第一部では、第一期水循環変動観測衛星「しずく」についてご紹介します。第二部では野口宇宙飛行士が登壇し、宇宙環境の特徴や宇宙飛行士の役割などを星出宇宙飛行士のミッション紹介を交えながらご紹介します。詳細はホームページをご覧ください。皆様のご参加をお待ちしています。

▶ 「第10回航空機による学生無重力実験コンテスト」参加者募集中! (応募締切り 7月30日(月))

http://iss.jaxa.jp/topics/2012/06/parabolic10_application.html

本コンテストは、学生の皆様から無重力(微小重力)環境で実施したい実験のアイデアを募集し、選定されたチームが自ら実験装置を製作し、実際に航空機に搭乗して実験を行うものです。提案内容に制限はありません。詳細はホームページをご覧ください。多くの皆様からのご応募をお待ちしています。

▶ SPACE@NAVI-Kibo WEEKLY NEWS http://iss.jaxa.jp/library/video/category/WEEKLY_NEWS

「きぼう」やISSの最新情報を映像でお届けするウィークリービデオニュースはこちらをご覧ください。

ISS・きぼうウィークリーニュース 第487号

問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター
ホームページ <http://iss.jaxa.jp/> お問い合わせ <https://ssl.tksc.jaxa.jp/iss/help/>
ウィークリーニュースメーリングサービス登録 <http://iss.jaxa.jp/weekly/>

※特に断りのない限り日付は日本時間です。

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。